



# 生涯学習だより

## 第9回 「あんなか市民フェスティバル」

### 第38回市民展

日時▶11月21日(金)～26日(水)  
午前10時～午後4時(最終日は午後3時まで)

会場▶安中体育館(旧安中高校体育館)

作品展▶

○造形美術展(第60回安中市造形美術展)

・チャリティー作品展示有り

○美術手工芸展

・チャリティー作品展示有り

・パッチワーク体験会 22日(土) 午前10時30分～  
1F体験特設会場 先着30人

○市民書道展

・チャリティー作品展示有り

○市民写真展

○市民華道展

・キッズ生け花体験教室 23日(日) 午前10時～  
1F体験特設会場

先着10人(小中学生のみ) 1,000円

○郷土資料展

○児童生徒作品展(安中地域小中学校) 2F

○くらしの会工夫展

○ユネスコ資料展

○市民の茶席(入場無料)

22日(土)・23日(日) 午前10時～

1F特設会場 先着200人

主催:安中市市民展  
実行委員会

後援:安中市  
教育委員会

問合せ▶

☎生涯学習課生涯学  
習係(☎内線2245)



## 平成26年度 安中市人権教育講演会

安中市人権教育推進委員会の平成26年度の重要課題は、「ハンセン病元患者の人たちの人権」です。委員会では、推進計画に則り、ハンセン病元患者の人たちに対する偏見や差別を解消するために市民を対象とした映画会や講演会などさまざまな学習機会を設けています。

講演会を通してハンセン病に対する正しい知識と理解を深めるとともに、真実を見る目を持ってほしいという思いを込めて制作した絵本「ミロと森のピアノ」朗読ライブを聴いてください。カタイ人権問題の話も、音楽とともに聞いていただければ、体の中に自然と入っていくことと思います。大勢の皆さんのご来場をお待ちしております。

日時▶11月28日(金) 午後3時(開場:2時30分)

場所▶安中市文化センター ホール

定員▶先着800人(入場無料)

内容▶演題:「ハンセン病に学ぶ ～取材現場より～」

講師紹介▶

数本雅子さん(元日本テレビアナウンサー・記者)



1991年、日本テレビ入社。アナウンサーとして「スーパー Jockey」「Exテレビ」などのバラエティー番組を担当。その後「きょうの出来事」で震災、障害者取材を機に、報道局記者へ転向。警視庁、厚労省、外務・防衛担当を経て、2001年末退社。2005年、ハンセン病取材をテーマに「女子アナ失格」(新潮社)を出版。その後、人権問題とメディアを研究し、上智大学大学院新聞学で修士号取得。現在も取材、執筆を続けながら講演を行っている。二児の母。

角聖子さん(ピアニスト)



ドイツ国立フライブルグ音楽大学を首席で卒業。ドイツ、ベルギーを中心にソロ・室内楽の両分野で活動。帰国後はソロ活動と共に、内外の著名音楽家とも多数共演。2012年に風間書房より自身原作・作曲・演奏による音楽・朗読CD付き絵本「ミロと森のピアノ」を発売。

### 平成25年度

### 人権作品集「おもいやり」から

### 人権について

安中市立松井田南中学校

1年 榎岡 文彩

私は今まで、はじめをしたこともいじめを受けたこともないと思っていました。ですが、違いました。人権の授業を受けてそう思いました。私はいじめをしている人と同じ立場でした。いじめられている子を見て見ぬふりをしていたからです。そのとき私は、「やめなよ。」と言えませんでした。なぜなら、言葉をかけてる勇氣、みんなの前で声を出す勇氣、自分が言う気持ちになかったからです。私は、一言声をかけられなかった自分が恥ずかしいです。自分がいじめられたら嫌だし、誰かに助けてほしいと思います。私だけじゃない。誰だってそう思うと思います。かげで悪口を言うなら自分の前で言ってみよう。私は、かげで言われるよりこのほうがいいです。ですが、そんなに勇氣のある人はいないと思います。その人がその場にいないからこそ人の悪口を言えるのだと思います。私だって悪口を聞いたことも言ってしまったこともあります。友達が自分の方を見ながらこそそそしやべるのは嫌です。たまに、一人でいる子や悪口を言っている人を見ます。これからは、自分から声をかけたいです。(つづく)

問合せ▶☎生涯学習課生涯教育係

(☎内線2244)